



エコ学区におじゃましました!



エコ学区になると、地域のエコ活動の活性化につながる「学習会」等を実施できます。地域ぐるみのエコ活動を広げるため、ぜひご活用ください!

乾隆学区 (上京区)

「エコ×防犯」 ～ 拍子木で夜回り～

省エネナビを取り付けて省エネ生活を実施する学習プログラムを行い、電気の使用量を1世帯平均で9.6%削減できました。また、支援物品である「拍子木」を活用し、「みんなで楽しく地域の輪 エコで救おう地球の輪」というエコ標語を唱和しながら、エコと防犯を呼びかける夜回りをしています。



学区で考えたエコ標語を書き込んだ特製のエコ拍子木です。各町内にて、世帯単位で交代で、毎日夜回りをしています。



(省エネ学習プログラム参加者の声)

- ・今後学んだことを実行して省エネ生活を目指します。
- ・数字で結果を見ることができ、自身の生活について見直すことができました。
- ・18世帯のみでこれだけ節約できたので、他の人も勉強できる場を増やしていたければと思います。

弥栄学区 (東山区)

「エコ×福祉」 ～ 高齢者の居場所と健康づくり～

ご高齢の方々が集う「健康すこやか学級」でエコを取り入れており、省エネについての学習会を開催し、次に支援物品である「リユース食器」の利用を開始しました。場を創っている社会福祉協議会の方々、現場で体験実習をしている京都女子大学の学生の方々にも、エコについて関心を持ってもらえました。



健康づくりのための体操の後、学習会を実施しました。



食事をする時は、リユース食器を使っています。

(学習会・参加者の声)

- ・省エネには、普段から気を付けているつもりでしたが、気づいていないことがあることを改めて知りました。
- ・今までもエコを実践しているつもりでしたが、これからは本気でやってみます。
- ・できる限りエコ活動に取り組みます。

別所学区 (左京区)

「エコ×防災」 ～ 災害に強い地域づくり～

非常時の電源確保にもつながる小水力発電の導入に向け、平成25年度から調査を続けています。また、平成27年度には防災訓練の一環として、エコと防災を合わせた学習会を実施し、避難経路の確認と災害に強い地域づくりについて考えるゲームを行うことで、エコと防災についての意識を高めました。



小川に水車を設置し、簡易流量調査と発電実験を行いました。



防災グッズに太陽光等の再生可能エネルギーを利用しています。

<支援コーディネーター派遣>

京都市では、地域のコミュニティ組織を対象に、太陽光発電や小水力発電など再生可能エネルギー利用設備設置を支援するため、地域住民の合意形成や簡易調査、事業化の検討等を行うコーディネーターを派遣しています。

新林学区 (西京区)

「エコ×自然」 ～ 夏のキャンプで自然体験～

西京少年補導委員会新林支部のサマーキャンプにて、自然を見つめなおす体験型の学習会を行いました。地球には人間以外に様々な生物が生きていることを考え、野外で五感を研ぎ澄ませながら、一人ひとりが自然の中にあるものを弁当箱に詰める遊びを通して、普段生活している身近なものを大切にしようとするきっかけとなりました。



最初に、地球に生きている生物について、話を聞きました。



自分が見つけた自然の中にあるものを詰めた弁当を見せ合いました。

(学習会・参加者の声)

- ・じっくり見てみると、色々な自然を発見できることが分かりました。
- ・自分たちが住んでいる周りにある自然にも、目を向けてみようと思いました。
- ・作る人の個性によって違うお弁当ができたので、様々な自然を体験できました。